

概要 / 注意

DL-S4W データ記録プログラム（以下、プログラムと表します）は、レベルニック DL-S4W（以下、DL-S4W と表します）の専用ソフトです。

このプログラムは、DL-S4W の出力をコンピュータに取り込み、テキストファイルとして保存します。
また表示を大きくして、コンピュータ画面を DL-S4W 表示画面とすることができます。

取込できるデータの数 は 14400 個までです。

取込タイミングは、プログラム画面のボタン操作、DL-S4W 本体のボタン操作、時間間隔指定の自動取込を選ぶことができます。

このプログラムはコンピュータへのセットアップ操作は必要ありません。

CD-ROM に収納されている DL-S4W-J.EXE を起動（ダブルクリック）することで、すぐに作業をすることができます。

また、プログラムをコンピュータのハードディスクにコピーしたり、USB メモリにコピーしても使用できます。
コピーするのは DL-S4W-J.EXE だけで OK です。

操作説明もコピーする場合は、FIG フォルダと説明書.htm ファイルを任意の場所にコピーします。

パソコン側無線ユニット（受信機）を使ってコンピュータと接続する場合、無線ユニットに COM ポートが割り当てられます。

割り当てられた COM 番号は、Windows のデバイスマネージャを使って確認できます。

有線で接続する場合は、コンピュータに RS-232C ポート（シリアルポート、COM ポート）が必要です。

RS-232C ポートが内蔵されていない場合は、市販されている USB-RS232C 変換ケーブルを使って RS-232C ポートを用意してください。

USB-RS232C 変換ケーブルを使えるように、変換ケーブルの説明書に従いデバイスドライバーの設定をしてください。

画面の説明

【 取込画面 】

DL-S4Wデータ記録プログラム ver.2.0
ファイル 編集 記録表示のコピー

LEVELNIC設定
CON : 1
データ取込タイミング : コンピュータで決定

取込データ数の指定 (最大14400, 0指定なし)
0

コメント (全角25文字)

表示のみ 通信開始 [F1]

保存 クリア 自動取込開始 [F2] 取込 [F5]

◇ データ 自動取込 : OFF 終了

DL-S4Wデータ記録プログラム ver.2.0
ファイル 編集 記録表示のコピー

1.	-0.281 nm/H	-0.281	2016/01/20 11:43:17
2.	-0.243 nm/H	-0.243	2016/01/20 11:43:22
3.	-0.236 nm/H	-0.236	2016/01/20 11:43:24
4.	-0.235 nm/H	-0.235	2016/01/20 11:43:26
5.	-0.235 nm/H	-0.235	2016/01/20 11:43:27

LEVELNIC設定
CON : 1
データ取込タイミング : コンピュータで決定

取込データ数の指定 (最大14400, 0指定なし)
0

コメント (全角25文字)

表示のみ 通信終了 [F1]

保存 クリア 自動取込開始 [F2] 取込 [F5]

◇ データ 自動取込 : OFF 終了

DL-S4W と通信を行い、測定値の表示やデータの取込を行ないます。

[表示]

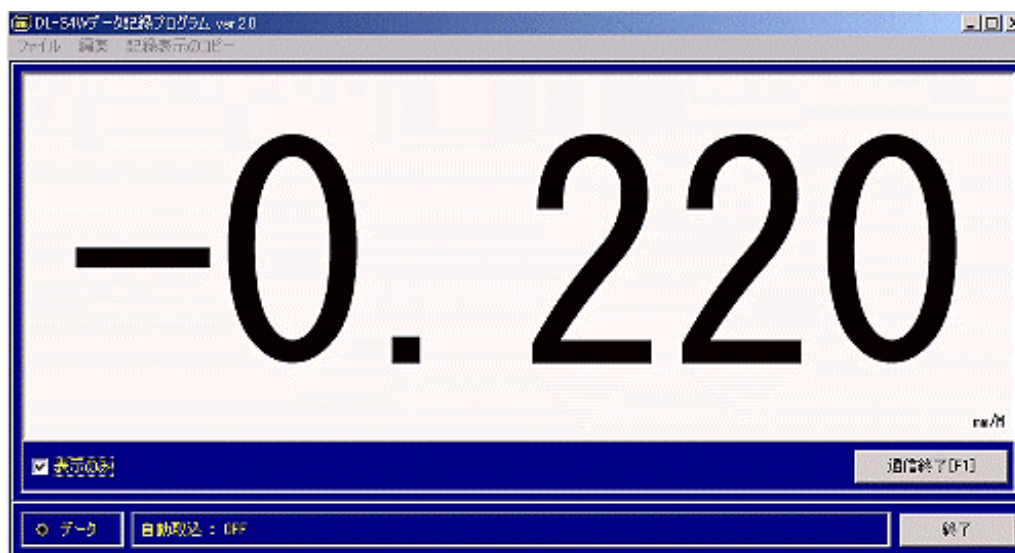
左側の大きな空白部分です。

DL-S4W と通信を開始すると、測定値を表示します。

右下に測定単位を表示します。

[表示のみ]

「表示のみ」にチェックを入れると、画面を最大限表示に割り当てます。



[データインジケータ]

DL-S4W との通信状態を、色と点滅で表します。

点滅：DL-S4W との通信ができていて、データを定期的に受信している状態です。

消灯：DL-S4W との通信ができていません。

DL-S4W の電源や出力に関するスイッチ設定、接続状態、プログラムの LEVELNIC 設定に問題がないか確認をしてください。

緑色：正常です。

赤色：測定範囲を越えた時、赤色になります。

[自動取込]

一定時間間隔でデータの取込を行なう設定が、ON か OFF かを表示します。

ON の場合は、設定された時間間隔も表示されます。

条件の変更は、メニューバーのファイル / 設定で行います。

[記録表示]

取込まれたデータを表示します。

個数、取込データ、データの数値だけ、日時の順で表示します。

ここに表示した内容は、通信終了後に「保存」ボタンを押すとテキストファイルとして保存できます。

[LEVELNIC 設定]

DL-S4W と通信する場合のプログラム側設定状態が表示されます。

この表示で条件が違っていないか確認します。

条件の変更は、メニューバーのファイル / 設定で行います。

[取込データ数の指定]

取込数を指定すると、指定の数だけデータを取込むと通信を終了して「保存」ボタンが押せる状態になります。

0 を指定しておく、最大の 14400 個に達するまでは通信を終了しないので、データを必要数取込んだら「通信終了」ボタンを押して、「保存」ボタンを押せる状態にします。

[コメント]

保存データをわかりやすくするために文字入力することができます。

全てメモ扱いなので、入力しなくても測定や入力はできます。

[ボタン]

通信開始 : DL-S4W との通信を開始します。

「通信開始」ボタンを押すと、同じボタンが表示を変えて「通信終了」ボタンになります。

通信終了 : DL-S4W との通信を終了します。

記録表示がある場合は、「保存」「クリア」ボタンが有効になります。

保存 : 記録表示をテキストファイルとして保存します。

クリア : 記録表示をクリアします。

自動取込開始 : 自動取込を開始します。

自動取込が ON の時、DL-S4W との通信を開始すると有効になります。

取込 : 記録表示にデータを取込みます。

DL-S4W との通信を開始すると有効になります。

自動取込が ON の時は、自動取込を開始すると有効になります。

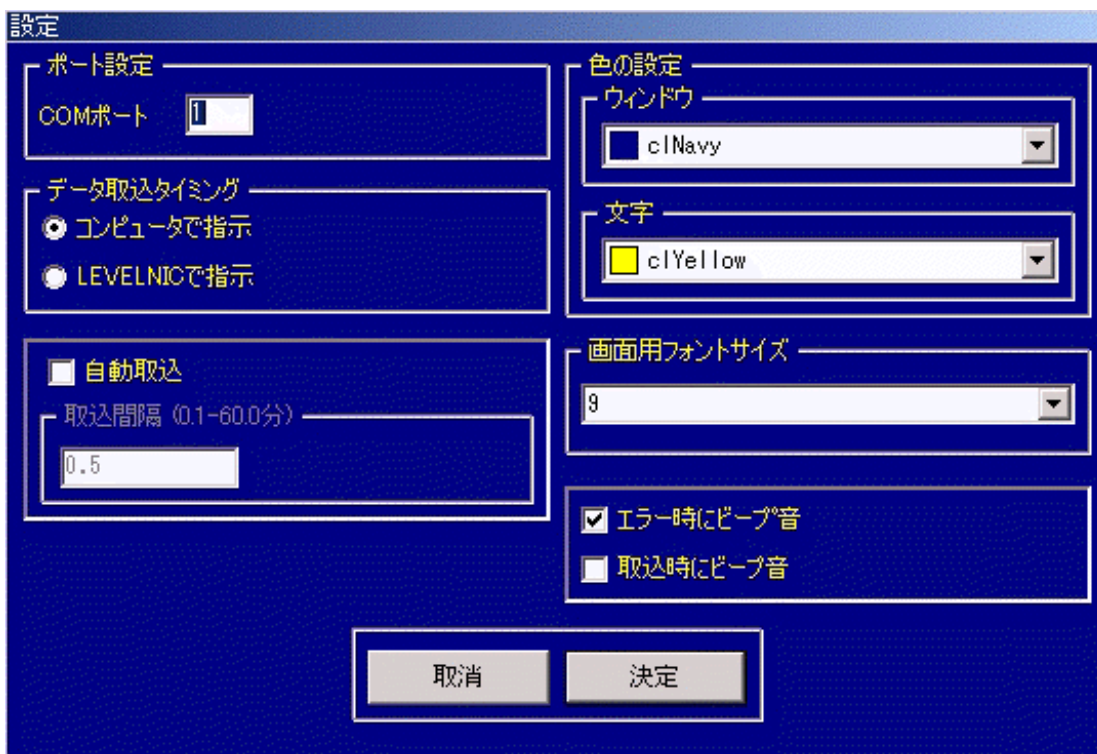
自動取込中であってもボタンを押すと、その時のデータを記録表示に取込みます。

終了 : プログラムを終了します。

[メニューバー]

- ファイル
 - ：このプログラムについて：プログラム名とバージョンの確認ができます。
 - 設定
 - ：設定画面が開き、DL-S4W と通信する場合の条件を設定できます。
 - プログラムで使う色や文字の大きさなども設定できます。
 - 終了
 - ：プログラムを終了します。
- 編集
 - ：切り取り
 - ：入力可能な部分の文字操作ができます。
 - コピー
 - ： ”
 - 貼り付け
 - ： ”
- 記録表示のコピー：コンマ区切りでコピー
 - ：記録表示を一括コピーします。
 - 記録表示で見えている通り、区切り文字はコンマです。
 - 他のソフトウェアに貼り付けるのに有効です。
- TAB 区切りでコピー
 - ：記録表示を一括コピーします。
 - 記録表示で見えているコンマを TAB に置き換えてコピーします。
 - 他のソフトウェア（特に表計算ソフト）に貼り付けるのに有効です。

【 設定画面 】



測定条件や、ウィンドウの色や文字の大きさ、音の有無などを設定します。

[ポート設定]

COMポート：DL-S4Wとの通信で使用する、RS-232CポートのCOM番号を設定します。

COM番号が不明な場合は、Windowsのデバイスマネージャで通信ポートを確認してください。

RS-232Cポートが使える状態にある時は、通信ポート(COM1)のようにCOMという文字にCOM番号の数字が表示されています。

[データ取込タイミング]

コンピュータで指示：データの取込を、プログラムの「取込」ボタンで行う場合に選択します。

その場合は、DL-S4Wの機能切り換えスイッチを「1/2」に切換えます。

LEVELNICで指示：データの取込を、DL-S4Wのスイッチ操作で行う場合に選択します。

その場合は、DL-S4Wの機能切り換えスイッチを「OUT」に切換えます。

[自動取込]

一定時間間隔でデータの取込を行なう(ON) / 行なわない(OFF)を指定できます。

自動取込を行なう場合は、取込間隔の時間を0.1～60.0分の間で指定します。

[色の設定]

ウインドウの背景色と文字の色を変更できます。

[画面用フォントサイズ]

ウインドウに表示される文字の大きさを変更できます。

[エラー時にピープ音]

使用するコンピュータのサウンド機能が有効な場合、「データインジケータ」が赤色に表示された時やプログラムが操作警告する時に音を出す / 出さないを指定できます。

[取込時にピープ音]

使用するコンピュータのサウンド機能が有効な場合、データを取込んだ時に音を出す / 出さないを指定できます。

使用方法

【 設定画面で変更した項目をもとに戻す方法 】

プログラムは設定で変更できる項目の情報を、設定ファイルとして DL-S4W.ini という名前で保存します。各種設定を最初の状態に戻す時は、DL-S4W.ini ファイルを削除してください。次にプログラムを起動すると、新しい DL-S4W.ini ファイルが作られます。

【 最初に 】

プログラムを使うために通信の準備できているかを確認してください。

- ・使用するパソコンに RS-232C ポートがあるか、COM 番号はわかっているか

RS-232C ポートが無い場合は、市販されている USB-RS232C 変換ケーブルを使って RS-232C ポートを用意してください。

USB-RS232C 変換ケーブルを使えるように、変換ケーブルの説明書に従いデバイスドライバーの設定をしてください。

COM 番号が不明な場合は、Windows のデバイスマネージャで通信ポートを確認してください。

RS-232C ポートが使える状態にある時は、通信ポート (COM1) のように COM という文字に COM 番号の数字が表示されています。

プログラムを使えるように準備してください。

このプログラムはコンピュータへのセットアップ操作は必要ありません。

CD-ROM に収納されている DL-S4W-J.EXE を起動 (ダブルクリック) することで、すぐに作業をすることができます。

ただし、CD-ROM には記録データや設定ファイルを保存できません。

プログラムは、コンピュータのハードディスクや USB メモリにコピーして使用できます。

ハードディスクや USB メモリにコピーして使用すると、記録データの保存もできて使いやすくなります。

コピーするのは DL-S4W-J.EXE だけで OK です。

操作説明もコピーする場合は、FIG フォルダと説明書.htm ファイルを任意の場所にコピーします。

【 手順 】

[データを記録する]

- 1)DL-S4W とコンピュータを接続
- 2)プログラムを起動
 - ・ LEVELNIC 設定表示と自動取込表示を確認し、違っていたら設定
 - ・ 必要に応じて、取込データ数の指定、コメント入力
- 3)DL-S4W の電源や接続を確認
- 4)通信開始
 - ・ データの取込を行う
- 5)通信終了
- 6)必要に応じて保存

[測定値を表示する]

- 1)DL-S4W とコンピュータを接続
- 2)プログラムを起動
 - ・ LEVELNIC 設定表示を確認し、違っていたら設定
- 3)DL-S4W の電源や接続を確認
- 4)通信開始
 - ・ 「表示のみ」にチェックを入れて表示を大きくしたり、画面（プログラムウインドウ）のサイズをドラッグで調整
- 5)通信終了

DL-S4W との通信ができない場合、DL-S4W の電源や出力に関するスイッチ設定、接続状態、プログラムの LEVELNIC 設定に問題がないか確認をしてください。

「通信開始」ボタンを押した時、DL-S4W の電源を入れていなかった場合は、後から電源を入れても通信が出来ない場合があります。

その場合、一旦プログラムを終了してもう一度起動してください。